

# 『毎日の情報Ⅰ』～毎日配信企画～

No.032

コンビニエンスストアの情報システムは、商品の在庫管理からレジでの精算、発注までを一元化して効率的に管理します。商品をスキャンすると、商品の情報が〔①〕を通じて読み取られ、情報システムに送られます。これにより、商品の売上データがリアルタイムで更新され、在庫の適正管理や必要な発注量の算出が可能になります。この〔①〕は通常、商品に印刷されており、商品の種類やメーカーなどの情報を持っています。この中には、商品を製造・販売している事業者を特定する〔②〕が含まれています。さらに、〔①〕の最後には **A チェックデジット** が含まれています。

〔①〕から読み取られた情報は、全国のコンビニエンスストアのネットワークに送られ、即座に各店舗の販売状況を共有することが可能になります。この情報を活用することで、各店舗は地域や季節、時間帯による需要の変動を把握し、適切な商品をタイムリーに発注することが可能になります。この高度な商品管理の仕組みにより、無駄な在庫を抑えると共に、顧客が求める商品が常に店舗に並んでいる状態を保つことができます。

また、この情報システムを活用することで、顧客の購買行動を分析することも可能になります。購買履歴の分析により、消費者のニーズを把握し、新商品の開発や販売戦略の立案に役立てることが出来ます。さらに、店舗レイアウトの最適化や、キャンペーンの効果測定など、様々なビジネスシナリオで情報システムの利用は進んでいます。これらの活用により、コンビニエンスストアは顧客の満足度を向上させ、業績を高めることが可能になります。

問1 空欄〔①〕から〔②〕に当てはまる言葉をそれぞれ答えなさい。

問2 下線部Aのチェックデジットについて、チェックデジットが持つ重要性とその具体的な役割について述べてください。

- ① チェックデジットはバーコードの読み取りミスを防ぐための仕組みで、バーコードの最後に追加される
- ② チェックデジットはバーコードが破損している場合に、その部分を補完する役割を果たす
- ③ チェックデジットは商品の価格や重さなどの情報を表す
- ④ チェックデジットは商品を製造・販売している事業者を特定する役割を持つ
- ⑤ チェックデジットはレジのスキャンミスを防ぐために、バーコードの読み取りを二重に行う役割を果たす